

表札に立体的な文字を入れる方法（文字配列の応用）

表札に作成した3D文字を編集する方法です。



文字の一つを人形が抱えているというユニークなサインの作り方です。

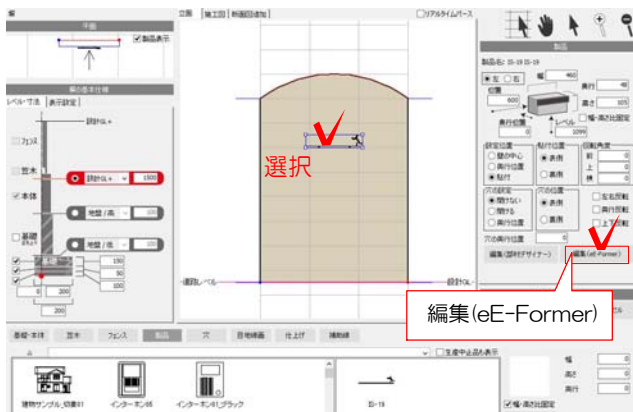
3D文字を作成して、グループ解除、「O」の文字だけ移動回転する方法です。

ここでは塀デザイナーの中で表札に3D文字を作成する方法を説明します。



レイヤは「ユニット」

Wクリック

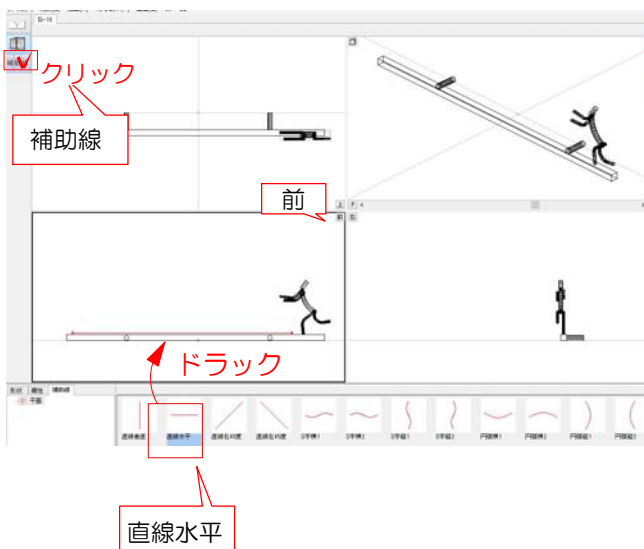


1：ユニットレイヤで表札を付けたい門柱を作成します。

今回は
メーカー：美濃クラフト
種別：表札
シリーズ：IS
IS-19 を使用しています。

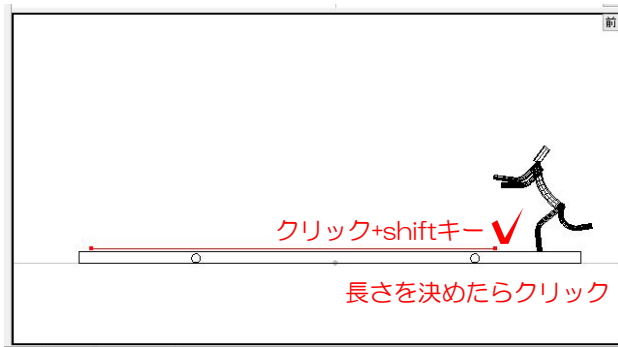
07 参考 製品の検索は
Web21 [塀に製品を配置する方法]を検索

2：表札を選択して「編集 (eE-Former)」をクリックします。




3：eE-Formerが起動します。

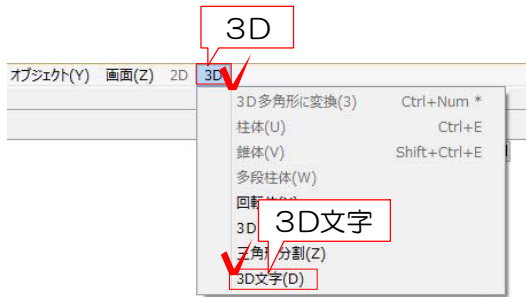
4：左上「補助線」をクリックし、補助線を前から見た画面にドラックで配置します。



5：表札に合わせて補助線の位置・長さを調整します。

補助線の端点にカーソルを近づけると  になります。クリックしてShiftキーを押しながら長さを調整し、クリックで決定します。

※文字数やサイズによって長さを調節して下さい。



6：補助線を選択した状態で、3Dメニューの「3D文字」をクリックします。

※他の図形も一緒に選択しているとメニューを選ぶことができません。補助線が1つだけ選択されているか確認しましょう。



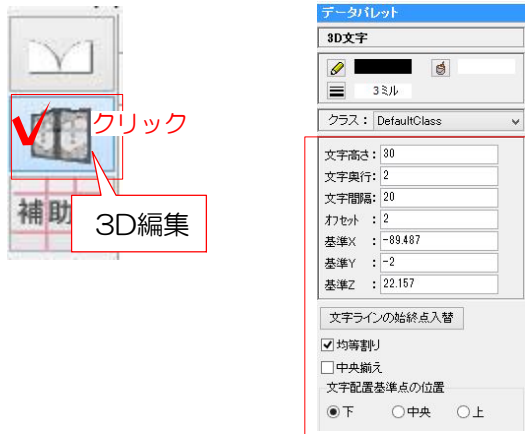
7：文字列に作りたい文字を入力します。Enterキーをクリックします。

文字高・文字間隔・フォントなどを設定してOKをクリックします。


※こちらの画面では文字を作る範囲を変えることは出来ません。一度作成画面を閉じて補助線の長さを調節してから作成しましょう。

詳しくは

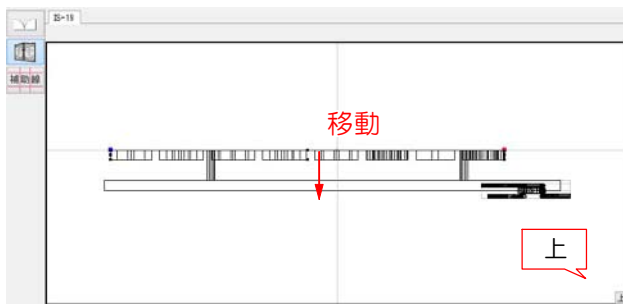
 [おすすめ&新機能→オーセブンCAD](#)
[11新機能→3D文字作成機能](#)



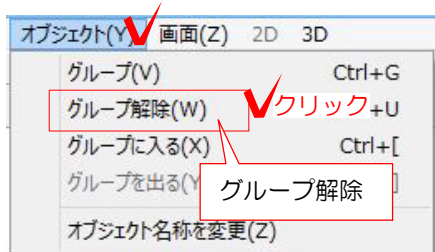
8：3D文字が出来ました。
左上の3D編集をクリックします。

 3D文字を編集したい場合は、画面右のデータパレットで数値の変更することが出来ます。

または作成した3D文字をWクリックして編集することが出来ます。

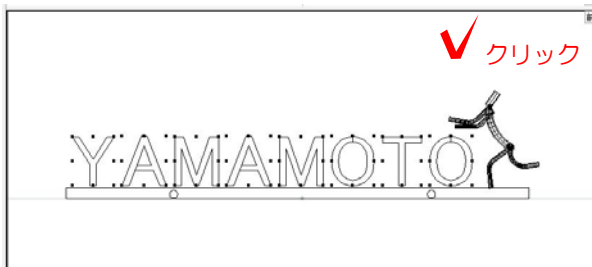


9：上から見た画面で3D文字の位置がずれている場合はドラックで移動します。

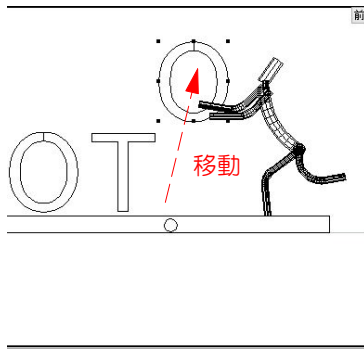


10：3D文字を選択した状態で、オブジェクトメニュー「グループ解除」をクリックします。

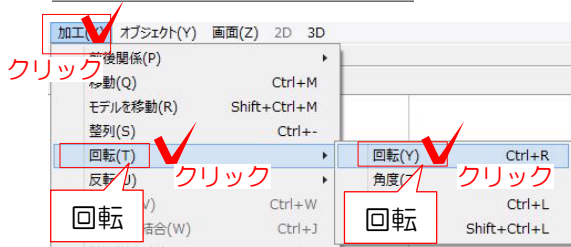
※グループ解除後は3D文字設定画面で編集が出来ません。



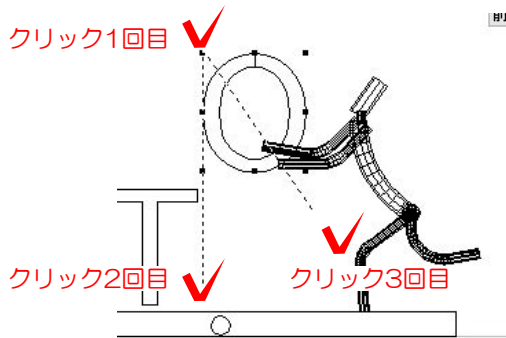
11：グループ解除されます。
何も無いところをクリックして、一度すべての文字の選択を解除します。



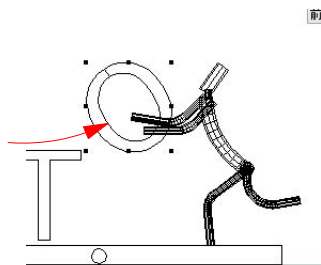
12：最後尾の文字をドラックで人型の手の位置に移動します。



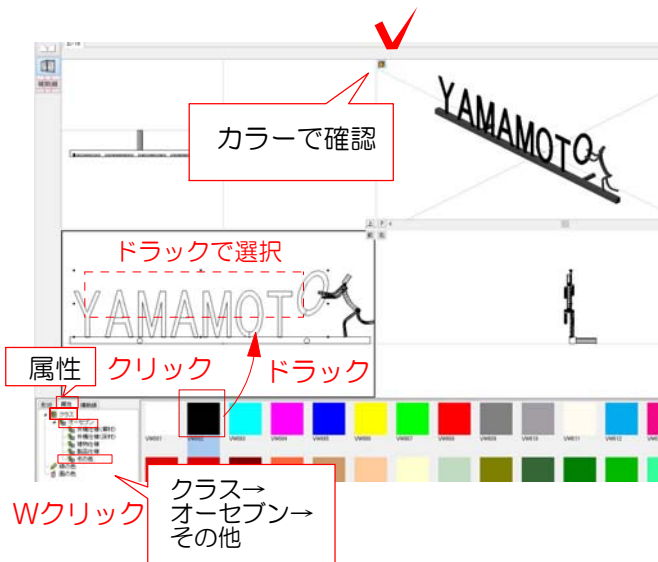
13：必要に応じて角度を調整します。
加工メニュー「回転」の「回転」をクリックします。




14：【クリック1回目】
回転する時の基準にしたい点でクリック。
【クリック2回目】
回転する軸になるラインでクリック。
【クリック3回目】
軸の回転方向でクリック。

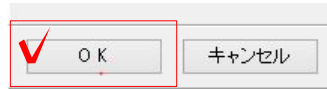


文字が回転しました。

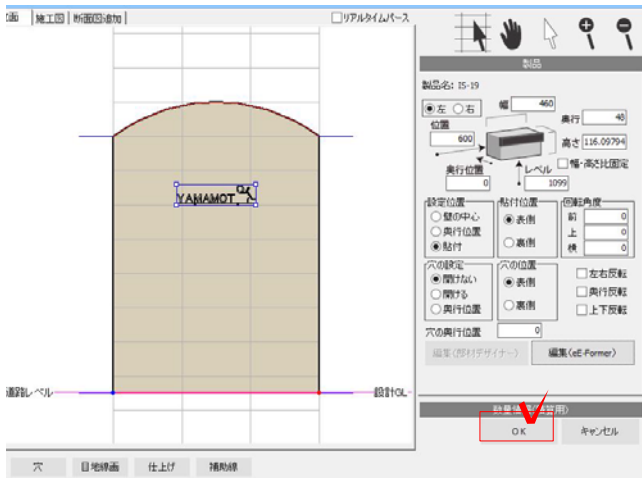


15：出来た3D文字をすべて選択して
属性→クラス→オーセブンから仕様を
Wクリックで選び（「P」以外の画面に）
ドラックして仕様を 割り当てます。

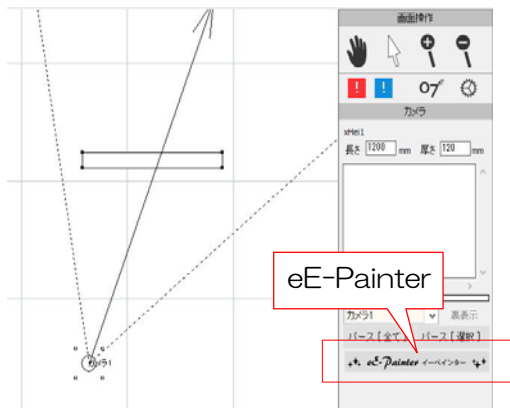
右上「P」の画面のボタン  をクリック
するとカラーで確認出来ます。



16：右下の「OK」をクリックしてeE-Formerを終了します。



17：塀に文字を作成した表札が配置されます。右下の「OK」をクリックして塀デザイナーを終了します。



18：カメラを設置してeE-Painterを起動します。



19：eE-Painterで確認します。テクスチャを変更する場合はレンダリングをクリックしてテクスチャを選び、表札の3D文字にドラックします。

20：表札に沿って3D文字を作成することが出来ました。